

■令和4年第2回臨時会(5月11日) 本会議で審議された議案とその結果

議案番号	付議事件名(第2回臨時会)	議決結果
承第2号	専決処分の承認について 美濃市内部組織設置条例の一部を改正する条例について	承認
承第3号	専決処分の承認について 美濃市税条例の一部を改正する条例について	承認
承第4号	専決処分の承認について 美濃市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	承認
承第5号	専決処分の承認について 美濃市介護保険条例の一部を改正する条例について	承認
承第6号	専決処分の承認について 令和4年度美濃市一般会計補正予算(第1号)	承認
議第33号	令和4年度美濃市一般会計補正予算(第2号)	可決
議第34号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議第35号	美濃市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議第36号	美濃市職員の給与に関する条例及び美濃市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	可決

美濃市議会各委員会の所属議員及び正・副委員長(◎委員長 ○副委員長)

- ◆議会運営委員会
◎山口育男 ○梅村辰郎 ・佐藤好夫 ・辻文男 ・須田盛也
- ◆総務産業建設常任委員会
◎梅村辰郎 ○太田照彦 ・古田豊 ・岡部忠敏 ・古田秀文 ・豊澤正信 ・松嶋哲也
- ◆民生教育常任委員会
◎佐藤好夫 ○須田盛也 ・山口育男 ・辻文男 ・永田知子 ・服部光由
- ◆総合計画・地方創生特別委員会
◎辻文男 ○永田知子 委員は、議長を除く全議員(議長はオブザーバーとして参加)
- ◆議会活性化委員会
◎永田知子 ○辻文男 委員は、13名全ての議員

■令和4年第3回定例会(6月6日~23日) 本会議で審議された議案とその結果

議案番号	付議事件名(第3回定例会)	議決結果
議第37号	令和4年度美濃市一般会計補正予算(第3号)	可決
議第38号	令和4年度美濃市一般会計補正予算(第4号)	可決
議第39号	令和4年度美濃市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決
議第40号	美濃市学校給食センター設置条例の一部を改正する条例について	可決
議第41号	令和4年度美濃市一般会計補正予算(第5号)	可決
議第42号	工事請負契約の変更契約の締結について	可決
議第43号	工事請負契約の変更契約の締結について	可決
市議第2号	美濃市議会委員会条例の一部を改正する条例について	可決

令和4年第4回定例会の日程

※令和3年度決算認定、令和4年度補正予算、条例の制改定等について審議します。

- 9月5日(月)10:00 本会議
- 9月15日(木)10:00 本会議(質疑・一般質問)
- 9月16日(金)10:00 本会議(一般質問)
- 9月20日(火)10:00 総務産業建設常任委員会
- 9月21日(水)10:00 総務産業建設常任委員会
- 9月22日(木)10:00 民生教育常任委員会
- 9月26日(月)10:00 民生教育常任委員会
- 9月28日(木)10:00 本会議

マチイロアプリをご活用ください。
★下記QRコードから、インストールできます。

iOS用 Android用



★編集後記★

梅雨明けが発表されてから長雨が続いているようですが、世界各地でも異常な気温上昇や熱波で山火事・干ばつ、一方で大洪水など急激な気候変動がおきています。このまま進めば食料入手が困難になると警告されています。気候危機打開の政策がまったなしで実施されることが世界の政治に課せられています。市議会議員は、皆様のご意見を市政に反映させるよう活動しています。13名の市議会議員へ、皆様のお声を是非お届けください。

連絡先 0575-33-1122(内410・411) 市議会だより編集委員会
【編集委員：須田盛也(委員長) 辻文男(副委員長) 豊澤正信 服部光由】

みの市議会だより

【No. 09】
美濃市議会
令和4年9月発行



令和4年第2回(5月)美濃市議会臨時会について

会期を5月11日の1日限りとして開催しました。専決処分5件を承認、補正予算1件、条例改正3件を可決しました。また、議会人事改選も行われ、議長に古田秀文議員、副議長に古田豊議員が選出され、各委員会に所属する議員も決定しました。各委員会の所属議員及び正・副委員長については4ページに掲載しています。

議長・副議長 就任のご挨拶



古田秀文議長



古田豊副議長

このたび美濃市議会臨時会におきまして、第72代議長並びに第69代副議長に就任いたしました。身に余る光栄であり、その責務の重大さに身の引き締まる思いを感じております。新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中ではありますが、市民の皆様の安心・安全のため、一人ひとりの声に耳を傾けながら、公正かつ円滑な議会運営とさらなる議会活性化に努め、市民の皆様の期待と信頼に応えられるよう全力で取り組んでまいります。今後とも、議会に対しまして皆様のより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

議長 古田秀文
副議長 古田豊

令和4年第3回(6月)美濃市議会定例会について

会期を6月6日から6月23日までの18日間として開催しました。補正予算4件、条例改正2件、その他2件を可決しました。

- 6月6日(月)・・・本会議(議案説明等)
- 16日(木)・・・本会議(一般質問6名)
- 20日(月)・・・総務産業建設常任委員会(1案件)
- 21日(火)・・・民生教育常任委員会(3案件)
- 23日(木)・・・本会議(採決)

牧谷小学校6年生が議場を見学(6/17)



社会科の授業の一環で美濃市議会と市の施策について学ぼうと、牧谷小学校6年生19人が6月17日、美濃市役所を訪れ、議場などを見学しました。議場内では、議員席や質問席に実際に座るなど、議会の雰囲気を実験し、古田議長から議会の話の聞いたり、質問をしたりして、市議会に対する知識・理解を深めました。

○発行：美濃市議会

○編集：市議会だより編集委員会

6月議会 各議員による一般質問

質問の詳細情報は、記載のQRコードより視聴できます。

① 辻 文男 議員 (しんし)



■JAめぐみの美濃支店跡の用地取得について

問：現在の状況はどのようなか。

答：用地取得に向けて協議を進めている。

問：教育委員会移転に向けての計画は。

答：教育委員会がある分庁舎は老朽化が著しく、その対応を検討している。

JAめぐみの美濃支店跡地への移転は、効率的な活用策の一つとして考えているが、移転の時期、建物の規模等は未定であり、隣接する本庁舎も手狭なことから、併せて検討する。

問：用地取得をはじめとする教育委員会移転に必要な資金調達の考えはどのようなか。

答：用地取得の資金は、協議が整い次第、土地開発基金を活用することとしている。

建設費等の資金調達は、時期や規模が未定であり、今後の活用方針と併せて検討する。

問：第6次総合計画・公共施設等総合管理計画と整合を図るべきと考えるがいかがか。

答：用地取得後に定める活用方針は、第6次総合計画に沿ったものでなければならないと考えている。公共施設等総合管理計画は、現状に即した内容となるよう、見直しを図る。

② 松嶋哲也 議員 (美濃市議会市政クラブ)



■文化・芸術活動の推進について

問：市及び市内NPO等の文化芸術活動を促進するために行う支援と取組はどのようなか。

答：支援として①文化会館、健康文化交流センター、公民館などを活動場所として利用できるようにし、使用料の一部減免や助成を行っている。②それぞれの団体が活動するために必要な運営費の一部を助成している。③中央公民館で実施している「美術展」、「文芸祭」や芸能大会、「ウタガキ・美濃」などの舞台発表の場を提供している。取組としては、文化・教養の向上のための生涯学習講座を開設し、文化芸術活動に触れる機会を増やすため文化芸術講演を開催している。

問：市内の伝統的な祭りや風習・文化・芸術を後世に引き継いでいくために行う支援と取組はどのようなか。

答：祭礼や伝統行事等について調査研究や記録保存を行うと共に、技術の保存・継承及び後継者の育成等に対して助言協力を行っている。さらに、指定文化財の大矢田ひんここ、美濃まつりなどで後継者が用いる山車や用具等の修理修復に対して、国、県、市が助成を行っている。

③ 須田盛也議員 (無所属クラブ)



■美濃市ファミリー・サポート・センター事業について

問：事業の目的や内容はどのようなか。

答：子どもたちの健やかな育ちを見守り、仕事と育児の両立など子どもを安心して生み育てる環境を作ることを目的とし、家庭の事情等で一時的に育児ができない時に手助けしてほしい保護者に代わって、有料でお子さんの世話をする登録制の子育て支援事業。

サポートを受けたい方を「利用会員」、サポートする方を「提供会員」といい、市が連絡・調整等の橋渡しの役割を担っている。利用会員は、生後6か月以上の乳幼児から小学生までの子育てをする方が対象。保育施設、留守家庭児童教室等への送迎、外出時や仕事を休めない時の預かり等に利用できる。

問：事業の充実に向けて、今後どのような取組が必要と考えているか。

答：就労される保護者は増加しているので、ニーズに合わせた利用時間帯の見直しや急なサポートへの対応が必要。本事業は市民協働の助け合い活動であるので、利用会員・提供会員、それぞれに向けたチラシを作成し、事業の周知を図り、会員を幅広く募集する。

④ 岡部忠敏 議員 (公明党美濃市議員)



■带状疱疹ワクチンの助成について

問：ワクチン接種費用を助成できないか。

答：予防接種は定期予防接種と任意予防接種の二通りあり、带状疱疹ワクチンは希望者が各自で受ける任意予防接種である。带状疱疹の発症頻度は50歳を境に急増し、70歳以上になれば1000人当たり10人以上の発症頻度である。

アメリカやヨーロッパの一部では約10年前から带状疱疹予防ワクチンとして高力価水痘ワクチンが用いられてきた。日本でも6年前の2016年より、水痘ワクチンが高齢者の带状疱疹の予防目的で使われるようになった。

しかし、免疫不全患者への接種、ワクチン効果の持続性などの課題が残されているため、厚労省では成人向けの定期予防接種としては審議中となっている。

現在まで、带状疱疹ワクチンについて市への問い合わせは1件もない状況であり、任意予防接種の助成をした場合、万が一健康被害が生じたときの補償などは、全額市の負担となるため、慎重に検討する必要がある。今後、国の動向や近隣市町村の対応を注視していく。

QRコードの接続先は、YouTubeの動画配信です。

⑤ 服部光由 議員 (日本共産党美濃市議会議員)



■新設される学校給食センターについて

問：①業務委託の業者選定はどのようなか。

②食物アレルギー対応食の取組はどうか。

答：①給食に対する基本的な考え方、衛生管理などの7項目18の観点で評価選定し、8月1日から業務委託する。

②食物アレルギー対応委員会を7月中旬に開催、対応食は保護者の手続きを8月中に行う。

■長良川遊水地について

問：遊水地の概要と美濃市の基本姿勢を市民に発表すべきではないか。

答：広報やホームページで周知するよう調整中。現状よりも安全性が向上すると考えている。

■有害鳥獣の農作物への被害の実態と対策について

問：①過去3年間の自治会からの捕獲依頼件数と捕獲数はどうか。

②現状の対策と今後の対応は。

答：①78の自治会から98件の依頼があった。捕獲数は、猪100頭、猿76頭、鹿43頭、カラス・サギ等139羽。

②対策は防護柵・電気柵、捕獲対策、猿を追いつぶす3つが主な対策。

他市等が注目している美濃市の事業

他市区町村の議会から行政視察ということで、美濃市が実施している事業を視察に来られました。

①【美濃和紙及びうだつの上がる町並みを活用した文化・観光・産業振興施策について】
7月21日(木)

東京都新宿区議会
(文化観光産業特別委員会 13名)

②【美濃和紙用具ミュージアムふくべ(旧片知小学校)について】
7月26日(火)

長野県飯山市議会
(産業民生常任委員会 8名)

③【廃校を利用した地方創生拠点整備事業について】
8月1日(月)

愛知県知多郡南知多町議会
(文教厚生常任委員会 6名)

⑥ 永田知子 議員 (明るい美濃)



■太陽光発電事業について

問：令和元年度から令和3年度までの農地転用による設置事業の申請件数と面積の推移、山林伐採の届出件数と面積の推移は。

答：R.1→30件で約4.1ha、(11件で約1.6ha)、R.2→19件で約2ha(7件で約0.8ha)、R.3→3件で約0.4ha(届出なし)。()内は山林伐採関連数値。

問：令和4年度の太陽光発電事業関連の固定資産税収入額はどのようなか。

答：償却資産申告の内、発電事業関連の固定資産相当額は202人で約3,380万円。平成30年度以降の軽減措置では8人で190万円の減収見込みだが、国費で補填される。

問：住民からの声、安全管理上の問題はないか。

答：特段ない。蕨生・田之洞地区の林地開発現場で先月、掘削土を区域外に置いているとの相談があったが、県の指導で改善済みである。

問：事業の円滑、確実な実施、環境・防災・景観保持の視点で条例策定が急がれるが、その考えはあるか。

答：これまで、特に心配であるとの意見は聞いていない。各種法例にて対応、把握しているため条例策定は現在必要ないと考える。

新学校給食センターが竣工 施設運用は2学期から始まります

昨年从前野に建設が進められていた美濃市学校給食センターが完成し、8月2日に竣工式が挙行され、議員も式典に参加しました。

子どもたちの食育のための素晴らしい施設が完成しました。新しい施設は、食物アレルギー専用調理室を設け、アレルギーを持つ子どもたちのニーズに応えられるようにしています。食の安全・安心を提供する施設として活用されることを期待しています。壁面の一部には、市内小学生が描いたイラストが飾られています。



除幕式(代表の子どもたち)